# 会報 うでまくり

一般社団法人
福島県女性経営者プラザ

## 仲間を増やそう！

福島県女性経営者プラザ
会長　上石　美代子

平成29年度の事業も後半に入りました。今年は「福島の未来に向けて女性経営者を育てよう！」～仲間を増やそう～というテーマで事業を進めております。少し事業を振り返りますと、4月の総会でお聞きした銀座、豊島屋ビル木村社長の講演会、「難病を乗り越えて」の中で、こころに残っている言葉がございます。「仕事が出来ても哲学がなければダメ」「苦しみの中で魂を磨けるか否かが重要」「阿頼耶識の考え方」など。講演の中で、木村社長が阿頼耶識（あらやしき）について触れられましたが、わたくしは不勉強で全然意味がわかりませんでした。そのあと調べたところ、大乗仏教には、眼識、耳識、鼻識、舌識、身識、意識、末那識、阿頼耶識の8つの識があり、阿頼耶識は8番目です。6番目の意識までが顕在意識であとの2つが潜在意識になります。8番目の阿頼耶識は記憶の貯蔵庫で誰もが持っている大金脈であり、臍下丹田を意識して願えば希望が達成できるとあります。説明を端折ってますので、ずれていたらごめんなさい。日々の忙しさの中で、臍下丹田を意識したり、魂の声を聴いたりすることは中々無いので、心を静めその時間を持つことも精神のレベルアップには必要ですね。

女子学生懸賞作文も今年で4回目を迎えます。毎年、前年を超えてのご協賛を賜り、この事業が皆様の温かいご支援で支えられていることに深く感謝申し上げます。誠に有難うございます。9月末日で締め切り、審査の上、11月26日（日）に表彰式を予定しております。今年はどのような素敵な女子学生さんと出会いがあり、どのような仕事の夢をお聞きできるか。とても楽しみにしております。

「仲間を増やそう」のテーマのとおり、9月から6名の新入会員をお迎えすることになりました。大変嬉しく感激しております。会員の皆様、ご紹介有難うございました。仕事と家庭とお忙しい会員が福島県内全域からご参加頂くことは、とても大変なことだと思います。会員の皆様が楽しく、元気に、そして学べて、経営資質のレベルアップになる例会になるよう、会員の皆様と力を合わせてまいりましょう。

**◆FJPの目的◆**

①女性経営者としての資質向上
②次の女性たちのための風土づくり
③共同事業の開発
④地域・社会への貢献

**●うでまくりとは**

古い川柳に「朝雨女の腕まくり」というのがある。天気のよい朝にパラパラと急に来る雨は、女の腕まくりと同じで意気込みだけ、大したことはない…という意味。FJP、女の腕まくりの真価はこれから！

**未来に向かって**
**一緒に**
**夢を語りませんか**

トライ＆チャレンジ精神の豊かな仲間たちが、あなたをお待ちしています

## ◆第22回通常総会

◆4月18日(火)
◆ウエディングエルティ(福島市)

### 「女性経営者」を育てよう

～仲間を増やそう～を目標に

平成29年4月18日（火）12時より、福島市ウエディングエルティにおいて、第22回定時総会が開催されました。来賓は福島県中小企業団体中央会副会長兼専務理事熊本俊博様。

議長（上石会長）の円滑な進行で、第一号議案：平成28年度事業報告書並びに収支決算報告承認の件、第２号議案：新年度事業計画案及び収支予算案承認の件、第３号議案内規改訂の件まで無事可決されました。

平成29年度の活動目標は、「福島の未来に向けて女性経営者を育てよう～仲間を増やそう」。将来の後継者も増えると嬉しいですね。

―定時総会記念講演会―

老舗企業を継続させるために

## 難病を乗り越えて

有限会社 豊島屋ビル
代表　木村蓉子氏

■講師プロフィール
青山学院大学卒業後国際ボランティアで活動。相馬雪香女史と「難民を助ける会」設立。平成15年豊島屋ビル入社、同19年同社４代目の代表取締役に就任、現在会長。

### ■魂の「阿頼耶識」（あらやしき）

豊島屋ビルは、１５９６年誕生の酒問屋で、白酒が有名で庶民に親しまれていたそうです。創業の地「神田」で爾来４００余年。震災や戦火も、時代の荒波を乗り越え、今日新しい時代の先端で歴史を刻み続けております。豊島屋ビル売却の話もありました。私は環境配慮型省エネビルに、屋上を庭園に、ビンテージビルに改装し、「幸せになるための貸しビル」と名付けて再生を図ることにしました。一生懸命働いて社会に奉仕する、経営者の意思を決算に表す美しい決算書を目指す。そんな大事な時期に、重症筋無力症の難病に侵されました。

社会復帰を目標に、回復すると信じていましたが、実は最近まで闘病生活は続き、今日こうして講演ができるまでに回復できたのは奇跡だと言われています。退院の日、「もっと歓喜せよ」という天の声が聞こえ、利他で深化する魂をもつに至りました。魂の阿頼耶識です。どんな願いでも達成できるというインドの仏教典の教えの通り、運命を拓いていく。哲学がないと経営はダメ。これからも無償の愛と謙虚さを忘れず、魂を磨いていきたいと思っています。

## 5月例会

◆5月8日(火)
◆燦(郡山市)

### 『女性経営者に望む』

講師　三田公美子（ＦＪＰ監事）

三田監事はＦＪＰを代表する大先輩のお一人なので、大変興味深くお話を聞かせていただきました。

福島市で7人兄弟の中で育ち、早稲田大学を卒業後、東京赤坂のＰＲ企画会社へ入社。その９年後に故郷に戻り、(株)企画室・コアを設立。昭和59年には女性のための「週刊郡山ウィークリー」を発刊。63年には第９回読売女性ヒューマンドキュメンタリー大賞カネボウスペシャル大賞を受賞するなど活躍されています。しかしその間、大変な危機にも遭遇し、一人で出来ることには限界があり、信頼できるパートナーを得たことが大きな力になったと話されました。ご自分の性格は、いい加減でおおざっぱ。その代わり、自分の意志を強く持ち、頑固！　と言い切る三田監事ですが、そのような生き方を貫かれてきた中からあふれる人間力が周りの人を引き付けて離さないのではないかと感銘を受ける講演会でした。

（佐藤君榮）

## 6月 公開講演会

# 女性経営者のプロトコール5原則

6月13日（火）ユニックスビル8階（福島市）

講師　ザ・プロトコール代表　山本節子氏

山本節子氏は、1989年の大喪の礼、翌年の即位の礼、2008年の洞爺湖サミット等のプロトコールをコーディネートしてきました。プロトコールとは「人と人を結ぶ接着剤、潤滑油」という意味を持つギリシア語が語源で、国と国の間の儀礼に対するルールを指すものとして外交官の間で使われてきましたが、現在はもっと広く、マナーとしての意味が大きくなっています。「国と国の付き合いも含めて、異文化の人々、習慣の異なる人々、様々な人が混じり合うときに、お互いを思いやる心から発生してくる心くばりとマナー」それがプロトコールマナーです。

数々の国際会議やサミットをコーディネートしてきた山本氏ですが、時代の流れなのか、晩餐会や各種社交パーティでの服装が国内外共に崩れてきているとの懸念を示しました。例えば女性のミュール・ストッキングや昼間の男性のタキシード（結婚式は別）など。単に時代だからと済まされないものがあるとのこと。言葉と同じように、プロトコールも時代によって少しずつ変化してきているようです。常に新しいことに目を向け、柔軟に学び取っていくことも必要ですね。

**山本　節子氏　プロフィール**

プロトコールコンサルタント、財団法人国際文化研究所講師、HRSホテルレストランサービス技能協会国家試験選定委員。
1948年静岡県生まれ。阪急交通社海外旅行部に勤務。オランダ外交官と結婚後、外交官夫人としてプロトコールの経験を重ねる。
1990年ザ・プロトコールを設立。官庁や民間企業、国際会議、ホテルで指導。
「天皇皇后両陛下行幸」「皇族御成り時の各自治体及び受入先準備室」担当。
「東京サミット」「沖縄九州サミット」「APEC首脳会談」「洞爺湖G8サミット」ほか重要会議のプロトコールアドバイザー。
ホテルオークラ・帝国ホテル・ホテルニューオータニなど、多くのホテルのプロトコールアドバイザーを務める。

## 2017年7月4日（火）　7月移動例会

裏磐梯レイクリゾートホテル
（旧裏磐梯猫魔ホテル）

ＯＢ会員も３名参加！

7月理事会・定例会は裏磐梯の大自然の中で開催。参加者は総勢24人。施設も温泉も夕食（本格フレンチ）も素晴らしい1泊2日の豪華版でした。ＯＢの佐藤光代さん、野崎孝子さん、松川佑子さんにも参加して頂き、実に刺激的な会合となりました。

定例会は、三田監事の采配で参加者全員が近況等を報告。日頃勢力的に活動している皆様の様子がよくわかり、信頼感も一層深まりました。翌日は台風を運よく避けてゴルフ（名門ボナリ高原）も開催。初めから終わりまで、実に冴えていた会合でした。

■講演会ピックアップ――

# 「美しくしなやかに！　情報リテラシー」

～ソーシャルメディアとモバイルの活用～

講師：ICTコミュニケーションズ㈱
代表取締役　内野良昭氏

## ■現代人の3種の神器

クラウド、ソーシャルメディア、スマートデバイスの3つは、現代人の三種の神器である。日常生活の中で誰でも手軽に接しているIT技術をプライベートやビジネスに活用する場面は増々広がっている。3種は、楽しい、気楽、リアルタイム性といったメリットが高い反面、リスクもある。メリットとリスクを正しく把握した上で使う覚悟が必要だ。

最近は、大手通信教育会社の情報漏洩や製薬会社の社員が酒に睡眠薬をいれたところを投稿するなど、身近なところで事件が発生している。なりすましメールによるマルウエア（悪意のあるソフト）被害やフィッシング詐欺（インターネットのユーザから経済的価値がある情報、例えば、①ユーザ名、②パスワード、③クレジットカード情報など）も増殖中である。ネット事件から教訓を得て、危険から身を守る対策を講じることも必要だ。

## ■リテラシーアップのためのポイント

①SNSとモバイルデバイスの特性を理解する。リスクから組織や自分を守るのは自分自身である。

②社内SNSツール活用のノウハウを習得する。LINEなど一般ツールの利用は用途を限る。リスクを「めんどうくさい」でごまかさない。

③スキルアップ・情報収集は継続が必須。社内掲示板等は常に気にしている。機種や機能の変更にも注意。

**開催：2017年2月13日（火）**
**会場：ネーブルシティもとみや aube（本宮市）**

**内野　良昭氏　プロフィール**

クラウドサービスやデータ活用など最新のツールトレーニングの導入支援、プレゼンテーション、会社紹介・製品紹介などのコンテンツ制作を通じ、お客様のICT利活用の問題解決、教育研修の企画実施を手掛ける一方、全国各地で講演活動を展開。一般社団法人ICT活用支援協会理事長／一般社団法人みらいウェブ推進協会理事。

# 過去ではなく、未来を見つめて

㈱アンプラン代表取締役
**長尾　千代美**

私も今年の誕生日を迎えると65才。口に出せないほど色々な事がたくさん有りました。本当に、山あり谷あり。人生には浮き沈みがあるものですね。そんな事が有りましたから、今の自分があり、ポジティブ人生を生きられていると思います。

昔聞いた話で大切にしている言葉があります。「山より大きなシシは出ない」――この世で起きた事はこの世で解決出来る。その言葉を大切に、今日を生きています。

最近思う事は「明日が必ず来るとは限らない」ということ。朝、目が覚めたらラッキー。だから日々を大切に、人を大切にしたいと考えています。

これからもっと人に優しく、自然に優しく生きたいものですね。

（FJP広報交流委員会）

# 各委員会報告

8月例会は、前期活動の振り返りと今後の委員会運営について、各委員会を開催しました。

## ❖総務委員会

8月8日(火)に、織井会員のお店「ドリーム」にて、8名の参加者で総務委員会を行いました。

総務としての前期活動の報告と振り返り、今後の総務委員会の運営などについての意見交換、例会の案内に対する返信の状況など課題への取り組みなど、活発な話し合いがなされました。その後、夏の親睦会として、お酒好きの皆さんと遅くまで語り合いました。菅野会員の豊かな人生経験をたくさん聞かせていただき、とっても有意義な夜になりました。

(委員長・菊池美保子)

## ❖事業委員会

去る8月4日(金)午前11時より、本宮市のネーブルシティaube(オーブ)において事業委員会を開催致しました。理事5名、委員4名、新会員1名の計10名の参加でした。

今までの委員会活動を振り返り、また今後3月までに開催される定例会及び作文コンクールに関する行事を踏まえ、食事をしながら和やかな雰囲気の中での会合でした。なかなか普段出席のできない会員の参加や、また新たな本宮市の入会予定者も参加し、活性化する様子を感じさせていただきました。何よりも月1回の定例会に一人でも多くの参加者が増えれば、もっと有意義な会になるのでは?と思いながら閉会となりました。

(委員長・瀬戸孝子)

## ❖交流・広報委員会

去る8月8日(火)、白河市「花文」に於いて、11時30分~14時、恒例夏の委員会を開催しました。横山、澤上、伊東、長尾、古川(節)、古川(文)、佐藤、会田の8名が出席。イタリアから一時帰国していた澤上副委員長の参加は心強く、先般ご母堂様を亡くされ悲しみの中参加の佐藤会員には感謝です。

割烹「花文」の上品な
日本料理の数々

まず、7月移動例会の実施状況を報告しあい、新規入会状況確認等情報共有しました。また、当面の活動目標が9月末日納品予定の「うでまくり17号」の発行。編集構成や担当分担について詳細打合わせしました。

今回の「花文」は古川文子会員の紹介でしたが、施設も懐石料理も実に素晴らしかったです。静けさの中で喧騒を忘れた幸福な時間でした。

(委員長・会田和子)

会員のステキな笑顔が揃いました。
澤上さんのイタリア留学の話にも花が咲きました

ふくしまの自慢⑤　横山りつ子

## ふくしまスカイパーク

室谷義秀パイロットに会いに山道を走る。目指すは、地上と大空を結ぶ航空公園「ふくしまスカイパーク」。美しい山々に囲まれた雄大な景色と滑走路のある風景は、四季折々に豊かな表情を見せてくれる。スカイパークは、福島市農道離着陸場として、航空機の離着陸や訓練、各種イベント会場として利用されている。管理者はNPO法人ふくしま飛行協会。ここで開催されるスカイパークエアショーも魅力の一つだが、災害時に活躍する赤十字飛行隊の拠点でもあり、県警航空隊や県消防防災航空隊の地域安全確保の訓練場所としても活用され、多くの人が様々に挑戦できる多面的農道空港である。

我が福島に自慢が一つ増えた!

# 新入会員紹介

## ❖2020年は節目の年に…

平栗洋子（広報交流委員会）
㈱丹波家柿羊羹本舗取締役専務）

私は二本松で生まれ、郡山で育ちました。短期大学へ進み、明治生命保険相互会社に2年。その後、家業を継ぐために帰郷し、28歳で結婚しました。2児を授かりましたが、4年で結婚生活にピリオドを。家で英語教室を開きながら、離婚で家業復帰が早まり、10年程2足のわらじをはきました。

長女は来年お菓子の勉強を終え、家業を継ぎます。次女は東京に就職。仕事に、子育てに駆け抜けた25年間でした。自由に仕事をし、思うがままに子育てをし、いつも「忙しさを求めて」走り続けてきたような気がします。

これからは少し速度を緩めて、まだまだ沢山学び続けていきたいです。2020年は、いろいろな意味で節目の年になるよう目標実現に向けて頑張ります。諸先輩会員の皆様のご指導ご鞭撻宜しくお願いします。

## ❖FJPで自己研鑽を…

古川文子（交流・広報委員会）
（古川車体工業㈱経営サポート）

弊社は、白河で創業70年の自動車整備板金塗装の会社を営んでおり、主人で4代目となります。私は、結婚前からの仕事を続けながら少しだけ主人の会社の手伝いをしております。

結婚前に何度かFJP例会にお邪魔して、県内には沢山の女性経営者が活躍していて、女性ならではの視点で福島県を活性化すべく事業を行い、地域貢献されていることに感動し、憧れの気持ちを抱いておりました。

上石会長にご縁を繋いで頂けたことに感謝して、皆様から経営者としての考え方や捉え方を学び自己研鑽し、魅力ある会社にして行ければと思っております。

今後とも何卒よろしくお願いいたします。

## ❖楽しく活動していきたい

佐藤君榮（交流・広報委員会）
（株式会社うおしん代表取締役）

弊社は、いわき市で結婚式場・宴会等の飲食業を営んでおります。会田和子様よりお誘いを頂き、4月より入会させて頂きました。

会田様にはその日初めてお会いしたのですが、大変魅力的な方で、「この方に毎月お会いできるなら入会してみよう」と即決した次第です。

会員の方々も皆さん前向きで活動的で明るくて元気で、見習う点の多い先輩方が多く、その都度学びがあり、毎回休まず出席させていただいております。特に7月の裏磐梯レイクリゾートでの移動例会はとても楽しく、親睦も深まり思い出に残るイベントとなりました。カラオケルームでのはじけっぷりは見事で、女性のパワーを見せつけられ、大きな刺激を頂きました。

これからも先輩の方々にご指導頂きながら、楽しく活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

## ■後期活動計画

**2017年10月～2018年3月**

＊**10月例会**（20日・金）コラッセふくしま（福島市）講師＝ICTコミュニケーションズ・内野良昭氏「ソーシャルメディアに強い女性経営者になるために～その1」

＊**11月例会**（14日・火）ビックアイ（郡山市）講師＝ICTコミュニケーションズ・内野良昭氏「ソーシャルメディアに強い女性経営者になるために～その2」

＊**女子学生作文表彰式・受賞作品発表会**
11月26日（日）ホテル辰巳屋

＊**12月例会**（19日・火）クリスマス例会
ドリーム（二本松市）

＊**1月例会**（16日・火）新年会
峰亀（福島市）

＊**2月例会**（13日・火）ネーブルシティもとみや aubu（本宮市）

＊**3月まとめ例会**（13日・火）ウエディングエルティ（福島市）

## 編集後記

お月さまが変化する様を日別表示したカレンダーが面白い。母との対話も弾みます。それでも、実際に夜空を見上げた方が癒される。バーチャルより、やっぱりリアリティです！

FJP会員の行動力の力強さに元気をもらっています。後期もよろしくお願い致します。

（会田和子）